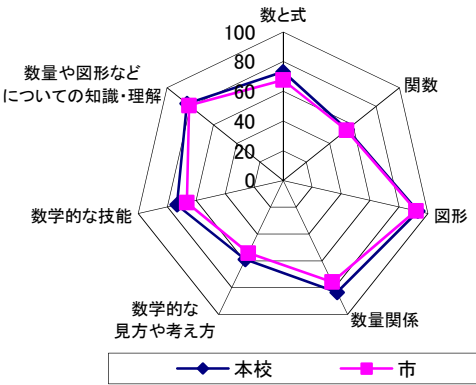


宇都宮市立豊郷中学校 第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	73.1	67.6
	関数	55.0	54.4
	図形	93.0	91.7
	数量関係	83.5	75.8
観点別	数学的な見方や考え方	59.0	54.2
	数学的な技能	73.3	66.6
	数量や図形などについての知識・理解	82.9	81.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	この領域の平均正答率は宇都宮市との比較では、5. 5ポイント上回っている。ほとんどの小問の正答率で、宇都宮市を上回るか、少し下回っているくらいだが、文章題を方程式で解くために数量を整理した表を正しく選択する問題だけが平均を大幅に下回っていた。数や文字を含む計算問題や、方程式や比例式はよくできていた。観点別では、技能はよくできているが、知識・理解や見方・考え方の問題はあまりできていない。	計算問題や方程式は引き続き、多くの問題に挑戦させ、更にできるように取り組ませる。文章題の問題の理解が足りないところがあるので、問題の意味をよく理解し、類似問題に多く挑戦させていきたい。また、習熟度別や、T・Tの活用により、個別指導も行っていきたい。
関数	この領域の平均正答率は宇都宮市との比較では、0. 6ポイント上回っている。2問のうち、表から1組のX、yの値を読み取り、比例の式を求める問題は市の平均を上回ったが、比例のグラフ上にある点のy座標の値から、X座標を求める問題は市の平均を下回ってしまった。	関数については、生徒の苦手意識も強い分野である。特に比例のグラフから座標を求める問題ができなかったことから、反復練習を多くさせていきたい。また、表、式、グラフの関係性を理解できるよう、多くの問題を解かせて発展的な内容も理解できるようにしていきたい。
図形	この領域の平均正答率は宇都宮市との比較では、1. 3ポイント上回っている。2問とも、小学校6年で学習した拡大図についての出題であった。	小学校6年の拡大図の内容については忘れずに理解していたと思われる。今、平面図形、空間図形の学習をしているので、引き続きできるように多くの問題を解かせていきたい。
数量関係	この領域の平均正答率は宇都宮市との比較では7. 7ポイント上回っている。2問とも小学校6年で学んだ場合の数についての出題であった。	小学校6年の場合の数の内容についてはよく理解していたと思われる。これから、資料の整理と活用について学んでいくので、更に興味をもち、多くの言葉を覚えたり、計算させたりしていきたい。